

<シェリル・メイナー大佐の2020年9月20日のビデオメッセージ（要約）>

私は仕事のためにリストを作って、一つ一つ課題を進めるようにしています。計画した通りに仕事を達成できたら、心に大きな満足を感じることができます。ネヘミヤ記を読むと、イスラエルの民がバビロン捕囚から帰還した様子が描かれています。彼らは、エルサレムの神殿が破壊され、荒廃しているさまを見て、啞然としました。そこで、ネヘミヤの指導のもとで、城壁の修復工事に着手しました。ところが、反対者が現れて工事を妨害して来たのです。反対者から呼び出しを受けたネヘミヤは「私は大きな工事をしているので、行けません。中断して出かけたのでは、どうして工事が終わるのでしょうか」と返答しました。反対者たちは脅迫したり嘲ったりし、ついには、ネヘミヤの暗殺まで計画しました。しかしネヘミヤは一步一步神様に頼り、祈りをささげ、工事を中断することなく、52日という短期間で仕事を達成できました。城壁の工事でしたから、一日の仕事の終わりには、自分たちの仕事が着実に進んでいることを、目で見えて確かめることができましたでしょう。このコロナ禍にあって、私たちはなかなか自分の仕事の進み具合を確認できないかもしれません。むしろ、物事が何も進んでいないように見えるかもしれません。心ではネヘミヤと同じように熱心に仕えているつもりだけれど、反対者から批判を受けて、失望することもあるかもしれません。しかしパウロはコリント一 15:58 でこう勧めています。「私の愛する兄弟たち、こういうわけですから、動かされないようにしっかり立ち、主の業に常に励みなさい。主に結ばれているならば、自分たちの労苦が決して無駄にならないことを、あなたがたは知っているはずですよ」私たちが主にささげる労苦は、決して無駄になることはありません。だから、途中で投げ出さないで、しっかり立ちなさいとパウロは勧めているのです。批判を受けても、途中であきらめずに、精いっぱい力を尽くして神様にお仕えしましょう。ネヘミヤは「神よ、今こそ私の手を強くしてください」と祈りました。この単純な祈りに、神は力強く答えてくださったので、ネヘミヤ 6:16 には「私たちのすべての敵がそれを聞くに及んで、私たちの周囲にいる諸国の民も皆、恐れを抱き、自らの目に大いに面目を失った。私たちの神の助けによってこの工事がなされたのだということを悟ったからである」と記されています。神は、あなたの人生に目的と計画を持っておられます。ですから、動かされずに、神からあなたにゆだねられたものを守ってください。あきらめずに働き続けるならば、人々は私たちを見て、確かに神が働いていておられることを認めるようになるでしょう。どうか、あなたの歩みが神に栄光と誉れをささげるものとなりますように。神があなたの手を強めてくださいますように。